



Shotaro Akiyama Exhibition



▲愛犬「ボビー」と



▲庄太郎が師と仰いだ画家 小糸源太郎の作品『三色堇』



庄太郎が花撮影で愛用していた
カメラとレンズ▶
ペンタックス LX
SMC ペンタックス 67 ソフト 120mmF3.5
リアコンバーター A 1.4X-L



▲コレクション作品が飾られた庄太郎のアトリエ
(現・第1展示室)

企画展 写真家 秋山庄太郎

ボクの「たからもの」

My Favorites

庄太郎が愛した

絵画

本

カメラ

ことば

そして……

2026 6/5 (金) ▶ 7/5 (日)

♪会期中、ギャラリートーク&コンサート開催予定♪

ピアノ演奏：齋藤康子、別府直子 ギャラリートーク：当館学芸員

※要入館料／日程は当館ホームページや SNS でお知らせします。

【会場】 秋山庄太郎写真美術館 第1展示室

【会期中の休館日】 月～木

【開館時間】 11:00～16:30 (入館受付16:00まで)

【入館料】 一般300円、小中学生100円

web サイト： <http://akiyama-shotaro.com>

Facebook ページ： <https://www.facebook.com./akiyama.shotaro.photo>

秋山庄太郎写真美術館
ホームページ▼



こころの「休み時間」。

秋山庄太郎 写真美術館
Shotaro Akiyama Photo Art Museum



写真家 秋山庄太郎（1920～2003）にとって

思い出深い撮影写真、若い頃初めて作った写真集、かけがえのない家族、友人、ペット、モデルになってくれた人たち、読みふけた書物、絵画や彫刻などの美術品コレクション、心の中で大切にしてきたことばたち、いつもそばに置いていたもの、そして、第二の青春のフィナーレを飾ったヨーロッパの日々……

さまざまな「たからもの」をご紹介します。

大切にしてきたものを通して、数々の名作を生み出してきた背景が見えてきます。

※本紙でご紹介しているのは
展示作品の一部です。



▲『翳』表紙



▲表題作『翳』

作品集『翳』

出征前に「遺写」として
1943年に出版した
庄太郎初めての写真集。



▲『東京エキゾチシズム』より
シャンソン歌手 寄立薫（1950年代）
庄太郎自宅ピアノの上に飾っていた。

出会いと絆

庄太郎の人生は多くの人々との
出会いに支えられていた。



▲女優 原節子（1950年代）
原節子自身にとってもちばん
お気に入りの写真。

秋山コレクション

芸術作品とのふれあいは、
作品制作のための創造力の源泉となった。



▲浜口陽三
『4つのさくらんぼ』



◀小糸源太郎
『雪の岬』

▼庄太郎愛用のそばちよこ



四カ月間ヨーロッパ外遊

1960年、不惑の齢（40才）を前に、
行き詰まりを感じた庄太郎。
フランス、イギリス、オランダ、
スペイン、イタリア……
自分を見つめ直すための旅から、
花、抽象など新たな秋山作品が生み出されていく。



◀『憩える人々』パリ近郊にて撮影（1960年）

作品集『おんな・おとこ・ヨーロッパ』（1961年）▶



【アクセス】

・地下鉄銀座線・千代田線・半蔵門線「表参道駅」

A4 出口（階段）または B3 出口（エレベーター、エスカレーター）より徒歩約7分

・港区コミュニティバス「ちいばす」（青山ルート）

バス停「青南小学校」下車徒歩約2分

〒107-0062 東京都港区南青山4-18-9

【TEL】03-3405-8578

※改修工事のため、トイレの使用はご遠慮ください。／カフェは休業中です。

